

看護だより

KANAGAWA

Vol.180

2018年5月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905
http://www.kana-kango.or.jp/

平成30年度 会員数 33,098人

(平成30年5月7日現在)



▲緩和ケア病棟にてクリスマスコンサート開催。
クラブ活動の一環として職員がボランティアで演奏しました！



毎年4月は新人さんを迎え、職員達はワクワク。
新しい仲間が増えることで、部署の活性化につながっています



手術室は11部屋あり、年間約7,000件の
手術を実施しています



▲毎年恒例、院内保育園のお遊戯会。
パパ・ママが見守る中で、子供達も頑張っています



病棟はオープンスタッフステーションで、
災害対応が可能な造りにしています

◀平成27年5月に
新棟(中央棟)が
完成しました

【今月の表紙】

国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

→施設の紹介は24ページに掲載しています

CONTENTS

- ◆健康ひろば「慢性硬膜下血腫」・・・2～3
- ◆スペシャリストが行く
「母性看護専門看護師」……………4
- ◆目からウロコのお役立ち情報
「正しい耳掃除」……………5
- ◆特集 インタビューに答えて
「若手看護師に聞きました」…6～7
- ◆助産師職能委員会研修会……………8
- ◆神奈川県ナースセンターのご案内…9
- ◆理事会報告/私のヒーリングタイム…10
- ◆公益社団法人神奈川県看護協会
理念・方針・目標/平成30年度重点事業…11
- ◆平成30年度事業計画……………12
- ◆資金収支予算書……………20
- ◆収支予算書……………22
- ◆こんにちは事務局です/
表紙の写真/編集後記……………24



高齢者に多い “治る認知症” のひとつ

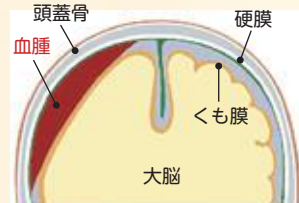
慢性硬膜下血腫



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
脳神経外科副部長 中村 歩希

硬膜下血腫とは

脳の表面・硬膜下腔に血液が貯留した袋が形成される病気です。硬膜下腔とは？⇒頭蓋骨の内側にある硬膜とくも膜の間を言います。(図1)



(図1) 慢性硬膜下血腫の図

多くの原因は転倒などによる頭部打撲後で、打撲後約3週間から数カ月して発症します。本人が覚えていないような軽い頭部打撲でも生じます。高齢者やアルコール多飲酒者に好発します。人口の高齢化に伴い高齢者の慢性硬膜下血腫例が増加しています。

明らかな頭部外傷のエピソードがなく発症するものもあります。脳神経外科手術後、抗凝固薬使用中、癌の硬膜転移、水頭症に対する短絡術施行、血液疾患、脳脊髄液減少症、くも膜嚢胞などが知られています。

数週間から数か月後に頭痛などの症状が

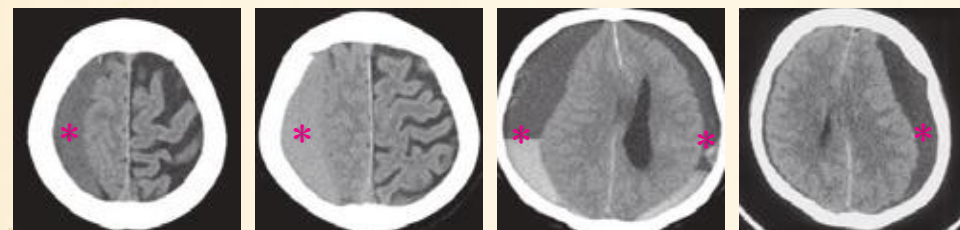
頭部打撲直後の画像検査では、異常がほとんどみられません。しかし、打撲時などに生じた少量の血液・髄液の

漏出が硬膜下腔に生じ、次第に膜（被膜といいます）に包まれ、袋（頭蓋骨側を外膜、脳表側を内膜といいます）が形成され、袋からはじわじわと出血を繰り返しゆっくりと袋が大きくなり、大脳半球を圧迫し症状が出現します。症状は、頭痛、歩行障害、麻痺、認知症様症状（いわゆるぼけ症状）、尿失禁、元気がない（自発性の低下）などさまざまです。高齢者に多いこともあり、治る認知症としては見逃せない病気です。症状はゆっくり出現しますが、まれに意識障害が急激に進行する例もあります。

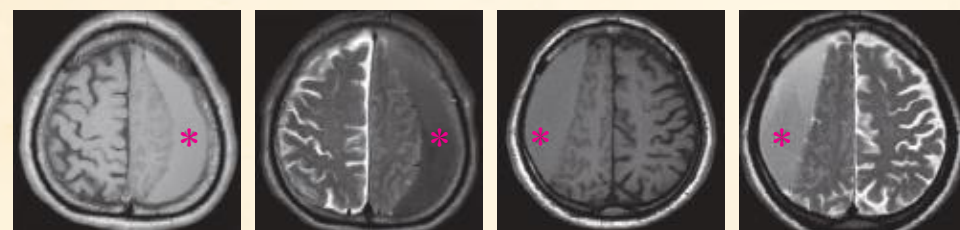
判定は頭部のCTやMRIの検査で

頭部CTで診断可能です。多くは片側の脳表に、三日月状の血腫を認めます(図2)。約20～25%は両側性に血腫がみられます。低・等あるいは高吸収域の血腫が混在するときやそうでないときがあります。大脳半球の圧排により脳の正中偏位や側脳室の狭小化、脳溝（脳のしわ）の消失なども認めます。

MRIは、周囲の脳構造を鮮明に、あらゆる断層で描出できるので、幅の薄い血腫を見つけることができます。



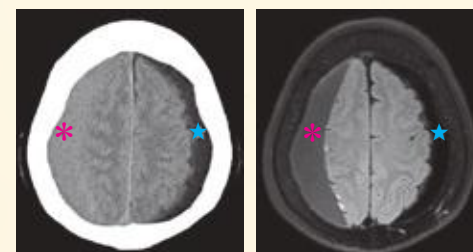
(図2) いろいろな吸収域の血腫がみられます。両側性のときもあります。脳の正中偏位や血腫による圧迫で側脳室がみえなくなっています。
(※:慢性硬膜下血腫)



(図3) いろいろな信号域の血腫がみられます。
(※:慢性硬膜下血腫)

MRIでは撮像方法や血腫の時期によって色合い（信号域）が異なります(図3)。

さらに、MRIでは、慢性硬膜下血腫か硬膜下水腫かの区別は容易であります(図4)。



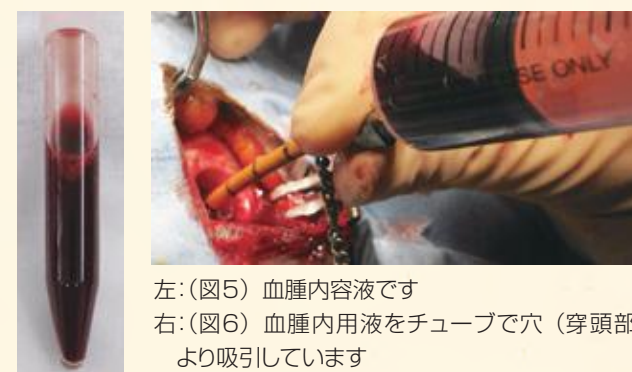
(図4) ※:慢性硬膜下血腫 ★:硬膜下水腫

治療は手術で血腫を除去

症状が出現していれば手術適応です。

通常は、局所麻酔で穿頭血腫除去術が行われます。局所麻酔で、約5cmの頭皮切開を行い、頭蓋骨に直径約1cmの穴を1つ開けます（穿頭といいます）。

次に、硬膜と被膜（外膜）をそれぞれ切って、細いチューブを挿入し血腫内容液（暗赤色の流動性の液体）(図5)を吸引除去し(図6)、血腫腔を生理食塩水などで洗浄して



左:(図5) 血腫内容液です

右:(図6) 血腫内用液をチューブで穴（穿頭部）より吸引しています

参考文献

- 前田剛 片山容一:慢性硬膜下血腫. 脳神経外科学 太田富雄(編),金芳堂,京都,2016, p1918-1929
- 中村歩希 川口公悠樹 内田将司 小野寺英孝 榊原陽太郎 田口芳雄:血液疾患を合併した慢性硬膜下血腫の臨床像 神経外傷 2016;39,89-94
- 若林礼浩 山下正憲 浅野知重 山田昭 祁内博行 近藤やよい 堀雄三 永富裕文:五苓散とトランサミンの併用による慢性硬膜下血腫の再発抑制効果 2012 40:967-971

手術を終了します。

手術終了時に、その穴を通して血腫腔にドレーンチューブを挿入することがあります。この手術は、脳神経外科のなかでも比較的危険性が低いと言われていますが、脳の手術であるので少ないながら重大な後遺症になるリスクがあります。

主な手術に伴う合併症としては、挿入するチューブによって脳が傷ついたり出血する可能性があります。また、感染症や脳内出血を併発する場合があります。他の術式としては、開頭血腫除去術（頭蓋骨を大きく開けて、血腫を除去します）があります。血腫が器質化し硬くて穿頭血腫除去術により十分に血腫が除去できないときや、再発を繰り返すときに、開頭血腫除去術を考慮しています。血腫の量が少ない場合、明らかな症状がなければ経過観察や内服治療（止血剤、漢方薬等）も行われ、約1～2ヶ月の経過で自然吸収される場合もあります。

術後の予後は良好

術後、症状は著明な改善が得られます。つまり、時期を逸せず治療すれば予後は良好です。しかし、脳萎縮の程度が強い高齢者などでは、圧迫されていた脳の正常な構造への回復が悪く、術後も症状の改善がみられないこともあります。

血腫の再貯留により再度症状が出現し、再手術になる場合（約10%）もあります。

いずれにしても、転倒等で頭部打撲の後、数週間から数か月の後に頭痛や歩行障害、麻痺等の異変を感じたら、医師の診断を受けるようにしましょう。

母性看護専門看護師

妊娠期から育児期まで ひとりひとりを大切に 周産期ケアを目指して



北里大学病院
周産母子成育医療センター*産科病棟
母性看護専門看護師 若狭 晶子

資格取得の経緯

基礎教育を修了後、助産師として大学病院の産科・新生児病棟で、年間約1,600件の分娩に対応し、慌ただしく業務に追われてきました。途中大学の教員として約10年、基礎教育に携わりました。その間、臨床現場から少し離れたことにより、今まで懸命にやってきたことが本当にお母さんやご家族、新生児のニーズに沿っていたのか、どのような看護者を目指していたのかと自分の臨床時代を見つめ直すきっかけとなり、専門看護師を目指そうと考えました。

大学院では、助産の意味・あるべき姿を考え直し、ハイリスク妊産褥婦と新生児への支援を探索しました。

資格取得後の活動

母性看護専門看護師は、女性と母子に対する専門看護を行い、周産期母子援助、女性の健康への援助を主たる役割とします。

私は現在病棟で、ハイリスク母子と家族に必要なケア提供を日々の課題として活動しています。例えば、妊娠中に白血病を発症した妊婦の支援では、産科・小児科・血液内科の医療チームで、妊婦・家族が治療と妊娠継続のリスクを理解し、意思決定する過程を支援しました。同時に、新生児集中ケア認定看護師や緩和ケア認定看護師と連携をとり、妊娠期から育児期までを継続的に支援するための調整を行いました。

近年は、特定妊婦や精神疾患合併妊婦など養育支援が必要な症例も多く、それぞれの家族の在り方や育児環境を考えて、母子が健全に過ごせることを目指し関わりを考えています。また、生命観や生活環境の多様化に直面する現場は、倫理的課題が多く生じます。事例検討会などを通してスタッフの悩みを解決し、ひとつひとつの事象を丁寧に考えることで倫理的感性を高める機会にしていきたいと考えています。

今後の仕事への想い

ハイリスク母子と家族への支援は産科領域の医療チームだけでは解決が難しいことが多いので、これからも他領域・多職種と連携、協働して、課題解決に取り組んでいきたいと思います。また現在、妊娠期を始点とした継続看護のシステムを模索中で、そこから新しい家族形成への課題に対応していきたいと考えます。

変化する社会状況に対応する力を高めていくこと、そして“女性とともに在る”助産師のスペシャリストとして、女性の悩みや想いと向き合い、ひとりひとりを尊重し続ける看護者でありたいと考えています。



医療チームで情報を共有、事例検討を行っています。

*周産母子成育医療センター：産科病棟、母体胎児集中治療室（MFICU）、分娩室、新生児集中治療室（NICU）、小児集中治療室（PICU）、小児病棟、北里学級によって構成されている。センターには、総合周産期母子医療センターとして機能する周産母子部門と小児成育部門が設置され、妊娠・出産から新生児期、小児期を通じ、広範な疾患、病態に対応し、一貫した診療の展開を目指している。

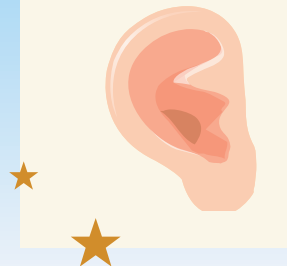
目からウロコのお役立ち情報



今回のテーマは…

正しい耳掃除

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、「正しい耳掃除」について、横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 野島雄介先生に解説していただきました。



耳には自浄作用 ～月に一度入口付近を綿棒で～



耳垢ができる仕組み

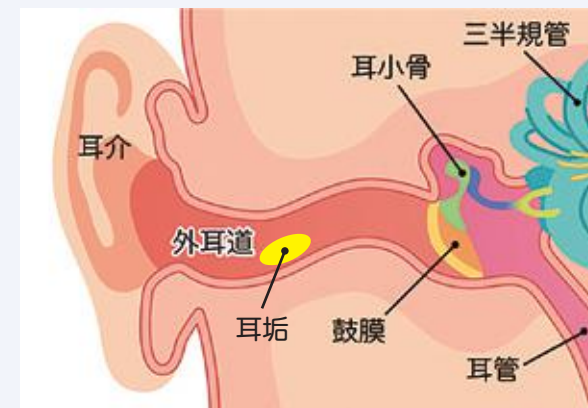
耳の穴の奥には音を聞くための鼓膜がありますが、そこまでの通り道を外耳道といいます。外耳道の長さは約3.5cm程度で、骨と軟骨でできた管の内側に皮膚が張っている構造をしています。

体の他の部分と同じく、皮膚からは垢や汗のような分泌物がでるため、それらと埃が混ざったものが「耳垢」と呼ばれています。（図1）

外耳道の皮膚には細かい毛が生えており、耳垢を徐々に外耳道の入り口へと押し出す働きがあります。これは耳の自浄作用といいます。そのため、正常な状態であれば、外耳道の奥には耳垢は溜まっていません。

耳垢は不要なものと思われがちですが、細菌やカビなどに対する殺菌作用があることが証明されています。また、うすい外耳道の皮膚や鼓膜を、外からの刺激から保護しているとも言われています。

（図1）



垢や汗等の分泌物が埃と混ざって耳垢となる

耳垢のタイプ

耳垢がべたべたの人（湿性）とかさかさの人（乾性）と2つのタイプに分かれます。ヨーロッパやアフリカではほとんどが湿性ですが、日本人は8割程度が乾性です。最古の人類は湿性で世界中に移動していく間に、突然変異を起こして乾性の人が生まれたのではないかと考えられています。

乾性の多い日本では、竹や木でできた耳かきで耳掃除をすることが多いのに対し、湿性が多い西洋では耳垢を溶かす薬で洗い流す方法が多く使われています。

正しい耳掃除の方法

前述のように耳には自浄作用があるため、毎日のように耳掃除をする必要はなく、また奥まで掃除する必要もありません。硬い耳かきも外耳道の皮膚を傷つけてしまうため、使用しないほうがよいでしょう。

月に1回程度、多くても週に1回程度、お風呂あがりなどに清潔な綿棒で耳の入り口付近の耳垢を拭き取るように掃除するだけで十分です。

しかし、外耳道の狭い乳幼児や自浄作用が低下する高齢の方は、耳鼻科で耳掃除をしたほうが良い場合があります。

耳鼻科受診のタイミング

耳垢が異常に多く感じる場合や、耳垢だけでなく難聴や耳鳴などの症状がある場合は、中耳炎や突発性難聴といった病気が隠れていることもあるため、早めに耳鼻科受診を検討してください。

また、耳垢が溜まっているだけでも耳垢栓塞という病名がつくため、遠慮せずに耳鼻科にご相談ください。

インタビューに答えて 若手看護師に聞きました

元気になった患者さんの 姿に励まされ

横浜市立大学附属病院
看護師 益田 ゆず香



- ① 私は幼いころから人と接することが好きで、漠然と将来は人と関わる仕事に就きたいと考えていました。高校生の頃に友人に誘われ、1日看護体験に参加した時に現場でいきいきと働いている看護師の姿を見て、看護師という仕事に魅力を感じるようになりました。
- ② 私は現在、整形外科病棟に勤務しています。手術後の患者さんは、日々リハビリに熱心に取り組まれています。歩行練習に付き添い、目標の距離まで歩くことができた時には、患者さんと喜び合っています。退院後、外来受診日に病棟を訪れた患者さんの元気になった姿を見ると、看護師をされていてよかったなと感じます。
- ③ 今年から私にも後輩ができたことで、良い緊張感を持ちながら働くことができています。今はまだ後輩をフォローできるほどの余裕はありませんが、これからも切磋琢磨していけたらいいと思っています。
- ④ 患者さんと接する時間を大切にしながら、知識・技術を磨き、先輩方のような信頼される看護師になりたいです。

意識的に声かけをし、 ストレスの緩和を

神奈川県立
循環器呼吸器病センター
看護師 米丸 優歩



- ① 人が好きで、人と関わる職業に就こうと思っていました。高校生の時1日看護体験をし、患者さんだけでなく、家族や友人にも声をかけながら仕事をしている看護師を見て、かっこいいと思いました。自分もこんな風に人の役に立ちたいと、看護師を目指しました。
- ② どんなに嫌なことがあっても、患者さんの笑顔を見ると自分も笑顔になれることです。隔離病棟で勤務していますが、閉鎖的な空間と長期入院で患者さんはストレスを感じています。少しでもストレスが緩和できるよう、私は患者さんのところへ意識的に訪れ、話をするようにしています。「話を聴いてくれてありがとう。気が楽になったよ。」と声をかけられた時はとても嬉しかったです。
- ③ 私が新人の時は、自分のことでいっぱいでした。そんな私ですが、患者さんに寄り添った看護を実践できるよう一緒に頑張っていきたいです。
- ④ 会話の中から、患者さんや家族の希望を自然に聞き出し、応えられるような看護師になりたいです。

INTERVIEW

このコーナーでは、入職2年目の若手看護師の会員の皆さんに次の質問に答えていただきました。

質問内容

- ① 看護師になった動機・きっかけ
- ② 看護師になって良かったことや嬉しかったできごと
- ③ 職場の後輩にひとこと
- ④ これからどんな看護師になりたいですか？



祖母の夢を実現！ 個々に合わせた看護を

東海大学医学部附属大磯病院
看護師 川下 拓也



- ① 小学生の頃入院した時に、男性看護師が、不安で泣く私に寄り添ってくれる姿を見て、「自分も同じ仕事をしたいな」と思いました。また、祖母の夢でもあったので看護師になりたい気持ちは強かったです。
- ② 入院時は体調が悪かった患者さんが、回復して元気に退院されていく姿を見ることができた時。また、自分の担当した患者さんが顔と名前を覚えてくださり、感謝された時も喜びを感じます。
- ③ とても優秀で真面目な後輩ばかりなので、共に学びながら看護を行っていきたいです。病棟の先輩方はいつも皆さんの事を褒めているので自信を持ってください。
- ④ 私の所属する病棟は内科混合病棟であり、脳梗塞などの影響により言葉でニーズを表出することが難しい方がいます。そのような患者さんに対し最善の方法を検討し、個々に合わせた看護を実践できるようにしたいです。患者さんへの理解をどのように深めるべきか迷うことが多いので、コミュニケーションスキルの学習は今後も積み重ねていきたいです。

笑顔で一人一人に 寄り添える看護師に

総合相模更生病院
看護師 鹿内 瑠夏



- ① 私が高校生の時に祖父が癌で入院し、私が知っている祖父じゃない姿を見てショックを受けました。その祖父に私は何もしてあげられなかったけれど、担当看護師が祖父に声をかけたり、母に夜間の状態を伝えて安心感を与えるなど祖父と母を支えている姿を見て、私も患者さんを支える人になりたいと思いました。
- ② 術前訪問時や手術が終わった直後に、患者さんから「よろしくお願ひします」や「ありがとう」と言われた時です。不安でいっぱいのはずの患者さんから、感謝の言葉をいただくともっと頑張ろうと思います。
- ③ 私が一年目の時は、わからないことがあれば直ぐに調べ、先輩に聞き知識を深めました。技術面では積極的に先輩の指導を受け、実施できるようになりました。一年目はわからないことがたくさんですが、自分が急激に成長できた年だと思いました。
- ④ これからも向上心を持ち、成長していく看護師になりたいです。また笑顔を忘れず、一人一人の患者さんに寄り添える看護師を目指します。

助産師職能委員会研修会

アドバンス助産師認定・更新ステップアップ研修

「分娩後大出血に対応するには」

委員会がアドバンス助産師の 認定・更新をバックアップ

2015年より助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー / CloCMiP®）レベルⅢ認証制度が開始され、神奈川県では、2015年287名、2016年374名のアドバンス助産師が誕生しました。この認証制度は、5年毎の更新制であり、社会の要請に応じた能力に対応する経験と必要な研修などを受講していることや、助産の知識や技術が向上しているかを確認しています。そこで当委員会では、多くの人々がアドバンス助産師に認定・更新できるように研修を企画しています。

「出血時の対応」について講義と グループワークで学ぶ

今回は、1月に開催した「産科救急～出血時の対応 分娩後大出血を中心に～」の研修について紹介したいと思います。これは、レベルⅢ認証制度のステップアップ研修に位置しています。

妊産婦死亡の死因の一位は産科危機的出血で23%を占めており、初回症状から心停止するまでの時間が30分以内19.6%、2時間未満41.6%でした。¹⁾



講師の説明に熱心に聞き入る受講生

そこで、助産師は速やかな判断と対応が求められ、医師や看護師とのチームワークも重要となります。

今回の研修では、分娩後の大出血を中心にその原因や予防・対応についての講義がありました。

4つのグループに分かれ、点滴セットや模型を使用し、症例に沿って、本番さながら医師役・助産師役・看護師役を担い、その実際の対応を学びました。各グループにはインストラクターが入り、指導を受けながら、学びを深めました。参加者がいろいろな役割を担うことで実際の動きがイメージできていたようでした。参加者の感想も「参加してよかった」「わかりやすかった」「実際に動けるようにしていきたい」と好評でした。

今後もスキルアップできる 研修を実施予定

助産師職能委員会では、これからも多くの助産師が、興味を持って、スキルアップできるような研修を企画していきたいと思っています。産科救急は毎年人気の高い研修であり、今年度も計画していますので、是非ご参加下さい。

（助産師職能委員長 佐藤 良枝）



インストラクターも入り、模型を使って
実際の処置について学びました

看護職として働いている皆様へ

神奈川県ナースセンターのご案内

県内で働く看護職の皆様がやりがいを持ち、働き続けられるようサポートしています！

求人・求職相談、進路に関する相談、働く看護職の悩み相談など年間12,000件を超える相談を受けています。



相談員より：

相談を伺っていると、改めて看護の仕事は、人が生きる・生きていくことを支える仕事であり、困難の多い仕事だと感じます。しかし、この人生の節目や転機に考えた経験こそが、ご自身の生きる・生きていく力に繋がっていると思います。

私達は、悩みを一人で抱えず、新たな第一歩を踏み出す力になれるよう「看護の仕事で働くこと」について、一緒に考えていきたいと思っています。

公益社団法人神奈川県看護協会

神奈川県ナースセンター

TEL 045-263-2101(代)

受付時間 平日9:00～17:00

相模原支所

TEL 042-776-2480

受付時間 平日10:00～12:00 13:00～16:00

1) 母体安全への提言2016 妊産婦死亡症例検討評価委員会 日本産婦人科医学会

理事会報告

第5回 | 平成30年3月3日(土)

審議事項

1. 平成30年度神奈川県看護協会方針・目標等について 承認
2. 平成30年度重点事業・事業計画(案)について 承認
3. 平成29年度補正予算(案)について 承認
4. 平成30年度当初予算(案)について 承認
5. 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みについて 承認
6. 事務局組織規則等の一部改正について 承認
7. 役員職務権限規程の一部改正について 承認
8. 相談役の退任について 承認

協議事項

1. 平成30年度神奈川県看護協会通常総会について
2. 平成30年度神奈川県看護協会会長表彰候補者(案)について
3. 平成30年度神奈川県看護協会改選役員について

報告事項

1. 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会理事会(2/22、23)
 - 2) 平成30年度要望に対する神奈川県からの回答について
 - 3) 神奈川県との「災害時の医療救護活動についての協定書」の締結について
 - 4) 平成31年度日本看護協会代議員数及び通常総会開催地について
 - 5) 平成30年度看護職ワーク・ライフ・バランス(WLB)調査について
 - 6) 平成30年度地区別法人会会員(関東甲信越ブロック)について
 - 7) 平成30年度神奈川県看護協会教育計画について
 - 8) 認定看護教育課程・学会・研修等について
 - 9) 新春のつどいの実施報告について
 - 10) 看護基礎教育機関卒業式対応について
 - 11) かながわ看護フェスティバル2018について
 - 12) 日本看護協会見学実施報告について
 - 13) 会員数について
2. 職能・支部実施報告書

その他

1. 公益法人認定法に基づく立入検査結果について

公益社団法人神奈川県看護協会 理念・方針・目標

【理 念】

『三つの精神』
いのち 生命 自律 情熱
いのち 生命：誕生から終焉まで、尊厳を守り、真摯に命と向き合う 精神

自律：自己の規範を確立し、誠実に行動する 精神

情熱：何事も熱意をもって取り組み、成し遂げようとする 精神

【方 針】

- 1 県民の健康の保持・増進及び健康問題に対し優れた知識・技術をもち、人々の多様なニーズに応えられる倫理観の高い看護職育成への寄与
- 2 看護に関する情報の積極的な収集とタイムリーな発信、関係問題の発生時におけるスピード感をもった対応
- 3 医療職および福祉職との連携・協働の維持
- 4 看護職が働き続けられる職場環境整備への支援

【目 標】

- 1 社会の動向、医療環境に見合う精度の高い継続的な教育・研修を提供する。
- 2 看護職能団体として課せられた公益的役割をはたすと同時に、あらゆる面から看護職を保護し支援する体制を維持・強化する。また、看護協会の魅力を明確にし、会員の帰属意識を高め組織強化を図る。
- 3 2025年問題を見据えて、地域と在宅における看護職の活動領域の拡大及び充実を図る。
- 4 看護職の離職防止と就業促進に向け、ナースセンター機能を強化する。
- 5 災害発生時に適切な支援ができるように、計画的な準備を推進するとともに、「災害支援ナース」の育成に努める。

平成 30 年度重点事業

人口が増加する社会から、減少する社会へと転換期を迎える中、神奈川県人口は平成 32 年以降徐々に減少することが見込まれ、少子高齢化が加速していきます。

神奈川県では平成 30 年度から 35 年度までの 6 年間の『神奈川県保健医療計画』が策定され、「誰もが元気でいきいきと暮らしながら、必要な時に身近な地域で質の高い医療・介護を安心して受けられる神奈川」を目指しています。

公衆衛生の向上と県民の健康保持、増進に寄与することを目的として活動する職能団体として、看護職に期待される役割はより範囲を広げ、そして重要度も増してきます。地域包括ケアの推進においては、傷病者のみならず虚弱者や障がい児者など健康弱者への医療・介護はもとより災害時対応も求められています。

これらの状況をふまえ、平成 30 年度は次の事業に取り組むこととします。

- 1 地域包括ケアシステム推進に携わる看護職の資質向上とその支援
 - 1) 病院から地域への円滑な移行を進めるための看護職員研修の充実
 - 2) 地域看護領域で働く看護職の資質向上に向けた研修の充実
 - 3) 地域包括ケアシステム推進に向けた多職種連携の支援
- 2 看護職の職場環境の改善への支援と就業支援
 - 1) 職場環境改善に向け、管理者を対象とした研修の充実
 - 2) 就職情報の充実と就業支援の促進
- 3 時代のニーズに対応した継続教育の充実
 - 1) 質の高い看護実践を推進する看護管理者研修の充実
 - 2) 小規模施設で働く看護職員・管理者研修の充実
- 4 災害時対策の充実
 - 1) 災害看護研修の充実
 - 2) 災害支援ナースの育成の推進
 - 3) 災害支援に関わる関係機関等との連携強化と対応訓練の充実

毎日を **HAPPY** にする

私のヒーリングタイム

♪ヒーローに自分重ねて～明日も

紅白歌合戦に出ていた SHISHAMO の「明日も」をご存知ですか？

へ月火水木金働いた～ダメでも毎日頑張るしかなくて～だけど金曜日が終われば大丈夫～週末は～僕のヒーローに会いに行く という歌です。

私のヒーローは「川崎フロンターレ」のサッカー選手達です。昨年、悲願の Jリーグ優勝を成し遂げました。年間パスで、週末は彼らの応援に繰り出します。職場では出せない大声を出してタオルを回して飛び跳ねます。最高のストレス発散です！

アウェイだって応援に行きます。北は札幌、南は佐賀まで。敵地で勝った時は、美酒に酔いしれます。偶然にも選手と帰り道に一緒になったりすることもあり、ワクワクがいっぱいです。「もうだめだ…」という時に、苦しくても走り立ち上がる選手たちに会いに行くと「まだ、頑張れる」気がします。

川崎市多摩区役所地域みまもり支援センター
保健師 鈴木 宣子

SHISHAMO はこう歌います。

へヒーローに自分重ねて～明日も

定年までやれるかな？



優勝を喜ぶ
「川崎フロンターレ」の選手



鈴木さん



熱狂するサポーター

公益社団法人神奈川県看護協会の活動指針

- 1 人々が安心できる保健・医療・福祉サービスの発展に貢献します。
- 2 県民が安心して生活できるよう人々の健康を支えるため、看護職の質の向上に努めます。
- 3 一人ひとりの看護職が、安心して安全な看護を提供できる場づくりを支援します。

平成30年度事業計画

I 公益目的事業

- 1 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業
- 2 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業
- 3 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業
- 4 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業
- 5 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業
- 6 その他公益目的を達成するために必要な事業

II 収益事業

- 1 会員支援事業

III 法人管理事業

- 1 法人管理事業

I 公益目的事業（事業費 662, 725 千円）

I－1 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業（直接事業費 14, 974 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 県民に対する看護の普及活動 1)看護週間行事 (1)看護フェスティバルの開催 ・生活習慣病対策(血管年齢・脳年齢等の測定) ・健康相談 ・看護師等になるための進路相談	・平成 30 年 5 月 12 日(土) 横浜市 参加予定数 延 2, 500 名 ・各支部における開催(予定) (「まちの保健室」を含む) 川崎地区(川崎市等と合同)4 月 1, 000 名 横浜北地区 11 月 400 名 横浜西地区 10 月 100 名 横須賀地区(横須賀市等と合同) 6 月 150 名 相模原地区(相模原市等と合同) 4 月 500 名 県央地区(綾瀬市等と合同) 11 月 200 名 ・実施期間 5 月 1 日～8 月 31 日 参加予定数 6, 000 名 県内 150 箇所の病院等施設	12, 522 千円
2)「一日看護体験」事業		
2)県民に対する広報活動の強化 (1)広報出版委員会	・定例会 年 12 回 「KANAGAWA 看護だより」の企画、編集	
(2)「KANAGAWA 看護だより」の発行	・年 6 回 計 218, 400 部 配布先 病院等施設、市町、図書館等 ホームページ掲載	
(3)ホームページの充実・利用の促進	・目標アクセス数 年 300, 000 件	
2 県民のための健康相談及び知識の普及 1)健康相談事業の充実 (1)支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援	・川崎地区 1 回、横浜北地区 1 回、 横浜西地区 1 回、横須賀地区 1 回、 相模原地区 1 回、県央地区 1 回 ・県看護協会訪問看護ステーション (4 箇所) 年 1 回×4 箇所	2, 452 千円
2)健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 (1)県民及び看護職を対象とした禁煙推進事業	・「スモークフリー推進かながわ基金」への参加及び禁煙に関する委員会への参加	
3)県内の医療職に対しての緊急情報の周知活動	・トピックス研修 年 3 回 随時ホームページ掲載	

事業内容	具体的計画等	予算額
4)次世代育成対策の普及 (1)看護実践教育アドバイザー事業 看護実践教育アドバイザーを看護学生の実習受入施設へ派遣し、実習指導の効果的な支援を行う。	・アドバイザーを 199 床以下の病院、看護職員が少ない福祉施設へ 10 施設程度に派遣	

I－2 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業（事業費 351, 745 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 訪問看護及び居宅介護支援事業の充実 1)訪問看護ステーション事業の充実 ・乳幼児から高齢者まで、病気や障がいのある方が、住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように看護師が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し療養生活を支援する。 また、医師や関係機関と連携をとり、様々な在宅ケアサービスを提案する。 ・24 時間対応体制の整備、緊急の際の夜間・休日の相談及び訪問、状態の変化や病状の観察・処置、かかりつけ医との連携等 ・がん末期や終末期などでも、自宅で過ごせるよう適切な判断に基づいたケアとアドバイスの実施及び家族等への支援 ・事業所 かがやき訪問看護ステーション（藤沢市） あかしあ訪問看護ステーション（茅ヶ崎市） おおいそ訪問看護ステーション（大磯町） 洋光台訪問看護ステーション（横浜市） 2)居宅介護支援事業 ・加齢や疾病、障害等による生活障害をもった要介護状態等の人々が、家族の支えや社会的サービスの利用により、自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成や相談等を通して支援する。 ・事業所 かがやき訪問看護ステーション（藤沢市） おおいそ訪問看護ステーション（大磯町） 3)訪問看護・居宅介護支援事業の質評価 (1)利用者満足度調査 (2)介護サービス情報公表にかかる自己評価 4)地域への活動 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動	・訪問看護ステーション所長会議 年 12 回 ・事務職員会議 (年 2 回) ・訪問看護疾患・症状別看護基準の作成 (年間目標延件数) ・訪問件数 14, 000 件 ・訪問件数 6, 500 件 ・訪問件数 7, 000 件 ・訪問件数 7, 000 件 ・ケアプラン作成数 400 件 ・ケアプラン作成数 480 件 ・年 1 回 ・年 1 回 ・各訪問看護ステーション月 2 回/年 24 回 ・訪問看護ステーションごとのパンフレット作成 ・広報活動（広報紙、地域住民に向けた健康講座、SNS 等の利用） ・同行訪問研修 ・新任または経験の少ない訪問看護師への研修 ・教育担当者への研修	351, 745 千円
5)看護職員等の資質の向上 (1)訪問看護ステーション内研修 訪問看護に関する情報共有、勉強会等 (2)事例検討会 困難ケース等についての検討会 (3)研修への参加	・各訪問看護ステーション 月 2～4 回 ・各訪問看護ステーション 年 3 回 ・ST 職員 年 2 回	

事業内容	具体的計画等	予算額
(2)横浜北支部	・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 定員 50 名 研修会 年 3 回 延定員 240 名	
(3)横浜西支部	・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 定員 55 名 研修会 年 3 回 延定員 210 名 新 研修会（連携） 年 1 回 定員 95 名	
(4)横浜南支部	・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 定員 50 名 研修会 年 3 回 延定員 150 名	
(5)横須賀支部	・定例会 年 11 回 講演会 年 1 回 定員 100 名 研修会 年 2 回 延定員 150 名 看護研究発表会 年 1 回 定員 100 名	
(6)相模原支部	・定例会 年 12 回 講演会 年 2 回 延定員 150 名 研修会 年 1 回 定員 80 名 看護研究発表会 年 1 回 定員 100 名	
(7)小田原支部	・定例会 年 11 回 講演会 年 1 回 定員 100 名 研修会 年 3 回 延定員 240 名 看護研究発表会 年 1 回 定員 150 名	
(8)湘南支部	・定例会 年 10 回 講演会 年 2 回 延定員 200 名 研修会 年 2 回 定員 200 名 看護研究発表会 年 1 回 定員 100 名	
(9)県央支部	・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 定員 90 名 研修会 年 2 回 延定員 180 名 看護研究発表会 年 1 回 定員 90 名 エキスパートナース会 年 3 回 定員 45 名	
3)看護職員の就業環境改善の促進 (1) 業務委員会 2025 年の超高齢社会に向けて、高齢者の特性を理解し、日々の看護業務に活かせるよう情報交換・交流の機会を提供し、これからの高齢者看護のあり方を考える。 (2)社会経済福祉委員会 ・健康で安全に働き続けられる労働環境について学びの機会や情報を提供 ・労務時間管理について学び、安心して働き続けられる職場環境作りに向けた取り組みを推進	・定例会 年 12 回 ・施設訪問 ・シンポジウムまたは講演会の開催 年 1 回 定員 100 名 ・定例会 年 11 回 ・講演会 年 1 回（10 月）定員 200 名 ・神奈川看護学会発表	
3 地域看護の推進と拡充 1)地域看護の質向上と推進 (1)訪問看護の推進 ・訪問看護ステーション一覧の作成 (2)「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置 訪問看護等に関する相談・助言 2)地域看護の質向上に関する研修 (1)地域看護における看護職員の育成 ・訪問看護見学体験研修会	・年 1 回 計 2000 部 配布先 訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載 ・週 1 回 ・年 7 回 2 日間 定員 各 20～30 名	16,976 千円

事業内容	具体的計画等	予算額
・訪問看護師養成講習会 ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 ・地域連携のための相互研修会（支部との連携研修） ・介護保険施設等看護研修Ⅰ（基礎レベル） ・委員会 (2)地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立 ・介護保険施設等看護研修Ⅱ（中堅レベル） ・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会 ・重度重複障がい児者への看護研修会 3)地域看護におけるトップマネージャーの育成 ・訪問看護ステーション管理者研修会 ・介護保険施設等看護研修Ⅲ（管理レベル）	・年1回 30日間 定員 80名 ・年1回 3日間 定員 50名 ・年3回 3日間 定員 各40名 ・年1回 3日間 定員 60名 ・年1回 3日間 定員 60名 ・年1回 11日間 定員 60名 ・年3回 1日間 定員 各100～200名 ・年1回 1日間 定員 50名 ・年1回 3日間 定員 50名	
	I－1、I－3、I－4 共通経費	151,251千円
I－5 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業（事業費 92,557 千円）		
事業内容	具体的計画等	予算額
1 看護職員確保定着対策の推進 1)看護師等の無料職業紹介事業(本所、他1支所) (1)求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 (2)第5次NCCSの運用 (3)相談員の質の向上 2)届出制度の促進及び支援事業 (1)届出制度の普及 (2)届出者の情報管理 (3)届出者の相談及び就業支援 3)ハローワーク・ナースセンター連携事業 (1)労働局・公共職業安定所との連携 ・求人票・求職者の情報交換と支援 ・職種別賃金等の情報交換 ・巡回相談の実施 ・運営及び情報共有の会議 ・相談会等への相談員の派遣 4)広報活動及び情報提供事業 (1)「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布 (2)看護学生・教員への周知 (3)年報の発行 (4)医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出（館内・館外） (5)ナースセンターホームページ新規作成による広報の強化 5)関係機関との連携・会議 (1)中央・都道府県ナースセンターとの連携 (2)社会福祉協議会 福祉人材センター等との連携 ・福祉施設等就職相談会等への協力・後援 (3)会議 ・看護職員確保対策連絡協議会 ・ナースセンター事業運営委員会 ・ナースセンター連絡会議 ・都道府県ナースセンター事業担当者会議 ・都道府県ナースセンター相談員研修 6)看護職員確保定着に関する調査事業	・求人・求職就業等の目標相談件数 年10,000件 ・求人施設の個別支援：訪問50件/年 ・医師会との連携強化（簡単登録支援） ・求人施設向け説明会 1回/年 ・目標就職数 年700件 ・相談員研修の受講：各自1回/年 ・通年 ・届出数： 3,500人/通算 ・相談通年 ・就職・研修等の情報提供：1回/月以上 ・情報交換会等の交流会の開催 1回/年 ・通年 ・ハローワーク巡回相談 4か所 各所 月/1回 ・巡回時及び必要時に開催 ・開催時 ・未就業看護職・施設への配布：2,000部 ・「はたさば」学生配布 3,800部 ・会議等での教員への周知 ・つどい等での看護学生への周知 ・200部 配布先 行政機関等80箇所 7月 1回/年 ・利用件数 年50件 ・求人・求職登録増に向けた内容へ修正 ・WEB広告の活用による情報発信 ・通年/随時 ・福祉施設等就職相談会への派遣 ・登録求職者への研修案内配布協力 ・1回/年 10月 ・1回/年 10月 ・1回/年 4月 ・1回/年 ・1回/年 ・1回/年	35,267千円

事業内容	具体的計画等	予算額
7)看護職員の定着を図るための相談事業 就業者の就業相談の実施 8)未就業看護師等への「復職支援研修」事業 未就業看護師等研修会の開催	・相談内容の分類と分析/通年 ・6回/年 受講者：300名程度 ・就業相談と支援	
2 看護に関する普及啓発事業の充実 1)進路相談事業 ・進路相談の実施 2)看護フェスティバル開催への協働 「一日看護体験」実施施設との調整 3)看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発	・通年 相談件数 100 件/年 ・案内期間 5 月 1 日～8 月 31 日 ・看護フェスティバルでの相談：30 件 ・リーフレットの配布 ：やさしさが キャリアになる	3,211 千円
	共通経費	54,079 千円

Ⅱ 収益事業

Ⅱ－１ 会員支援事業（事業費 81,987 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 会員に対する支援事業等 1 1)委員会及び支部における情報提供等 (1)保健師職能委員会 (2)助産師職能委員会 (3)看護師職能委員会Ⅰ (4)看護師職能委員会Ⅱ (5)川崎支部 (6)横浜北支部 (7)横浜西支部 (8)横浜南支部 (9)横須賀支部 (10)相模原支部 (11)小田原支部 (12)湘南支部 (13)県央支部 2)会員支援に関する事業 (1)「看護職賠償責任保険制度」加入の推進 (2)会員の進学支援 (3)表彰 (4)神奈川県看護協会指定店事業 (5)会員の慶弔等への対応 (6)会員相互の親睦を深める機会の充実 ・新春のつどい ・会員交流会 (7)お年玉プレゼント(広報出版委員会) (8)会員サポート事業	・職能集会 年 1 回 「職能だより」の発行 年 1 回 1,000 部 配布先 縣市町村・企業・病院・地域包括支援センター等 ・職能集会 年 1 回 「職能だより」の発行 年 1 回 1,500 部 配布先 病院等施設 ・職能集会 年 1 回 ・職能集会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 (横浜西支部との共同開催) ・支部大会 年 1 回 (横浜北支部との共同開催) ・支部大会・講演会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 ・新規加入者目標数 9,000 名 ・大学等への進学の推薦 ・各表彰への推薦 ・約 300 店舗 ・弔慰金支給 傷病見舞金支給 ・平成 31 年 1 月 24 日(木) 横浜市内 定員 400 名 ・平成 30 年度下半期 定員 85 名 対象 60 歳以上の会員(平成 31 年 3 月末現在) ・当選者 46 名	9,572 千円
2 会員に対する支援事業等 2 1)看護管理者に対する研修支援事業 2)看護管理者及びスペシャリストのための学習支援 (1)認定看護管理者教育課程事業 ・認定看護管理者教育運営会議	・メンタルヘルス研修 1 回 定員 100 名 ・定例会 年 3 回	11,220 千円

事業内容	具体的計画等	予算額
・ファーストレベル ・セカンドレベル ・セカンドレベルフォローアップ研修 ・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 (2)看護管理者研修事業 2 ・看護管理Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ研修 ・看護補助者活用推進研修 ・重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者 研修（衛星通信配信）	・研修期間 平成 30 年 4 月 26 日～9 月 7 日 定員 70 名程度 ・研修期間 平成 30 年 10 月 4 日～ 平成 31 年 3 月 1 日 定員 35 名程度 ・定員 60 名 年 1 回 ・定員 100 名×2 回 ・研修 5 回 延 8 日 延定員 475 名 ・定員 200 名 年 1 回 ・定員 200 名 年 2 回	
	共通経費	61,195 千円

Ⅲ 法人管理事業

Ⅲ－１ 法人管理事業（管理費 67,782 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 職能団体としての組織・運営強化 1)諸会議の開催 (1)通常総会（決算） (2)理事会 (3)事業説明会 (4)財政会議 (5)新聞への広告掲載 2)(公社)日本看護協会との連携 (1)総会参加 (2)全国職能別集会参加 (3)地区別法人委員会開催 3)新公益法人に関する業務等 4)事務局機能の整備・充実 (1)事務局情報・通信システムの運用・管理 (2)役職員の資質向上のための研修実施及び学会 参加 5)委員会 (1)推薦委員会 平成 31 年度役員の推薦・選出 (2)会員委員会 会員増への取り組み (3)倫理審査会 2 政策への提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進 1)国、神奈川県、関係団体への要望 医療制度、看護教育制度、診療報酬、看護職員の 働く環境、看護提供体制の改善・充実等 2)神奈川県との連携 3)県内医療関係団体等との連携・交流の推進	・平成 30 年 6 月 22 日(金) ・定例 5 回、臨時 1 回 ・年 1 回 ・年 1 回 ・年 2 回 ・平成 30 年 6 月 12 日(火) 開催地：神奈川県 パシフィコ横浜 ・平成 30 年 6 月 13 日（水） ・平成 30 年 10 月 25 日（木）・26 日（金） パシフィコ横浜 ・ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用 ・研修 事務局、訪問看護ステーション 年各 1 回 学会参加 年 6 回 ・定例会 年 4 回 ・定例会 年 8 回 ・施設見学 年 1 回 定員 50 名 ・入会案内リーフレットの作成 12,000 部 配布先 病院等施設、看護学校等 ・事業案内パンフレット印刷 3,000 部 ・看護協会活動 PR・入会案内ダイレクト メール発送 ・協会紹介動画修正 ・年 1 回 ・年 4 回	21,875 千円
	共通経費	45,907 千円

資金収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	68	1,268	△ 1,200	
特定資産利息収入	68	1,268	△ 1,200	県債利息
入会費収入	70,000	72,000	△ 2,000	
入会金収入	70,000	72,000	△ 2,000	
年会費収入	210,000	213,000	△ 3,000	
会費収入	210,000	213,000	△ 3,000	
事業収入	407,984	442,706	△ 34,722	
受講料等収入	49,856	74,142	△ 24,286	研修受講料
受託事業資料代収入	3,169	5,534	△ 2,365	委託研修資料代
参加費収入	5,750	5,650	100	学会・つどい・交流会参加費
訪問看護事業収入	337,717	345,898	△ 8,181	訪問療養費等収入
居宅介護支援事業収入	11,492	11,482	10	
補助金等収入	112,235	120,088	△ 7,853	
神奈川県補助金等収入	91,667	99,480	△ 7,813	ナースセンター事業委託金 他
横浜市補助金等収入	2,990	2,990	0	訪問看護・小児・災害委託金
川崎市補助金等収入	556	556	0	重症心身障害児者委託金
相模原市補助金等収入	1,100	1,100	0	ナースセンター支所運営費
日本看護協会補助金等収入	14,950	14,990	△ 40	教育研修助成金 他
団体助成金等収入	972	972	0	学会出展料
寄付金収入	4,600	5,020	△ 420	
寄付金収入	1,000	1,000	0	
協賛金収入	3,600	4,020	△ 420	看護フェスティバル協賛金
雑収入	1,458	1,485	△ 27	
受取利息収入	31	78	△ 47	預金利息
その他の雑収入	1,427	1,407	20	実習謝金
事業活動収入計	806,345	855,567	△ 49,222	
2. 事業活動支出				
事業費支出	729,252	796,735	△ 67,483	
役員報酬支出	22,714	21,627	1,087	
給料手当支出	408,460	435,698	△ 27,238	
臨時雇賃金支出	13,650	18,764	△ 5,114	
役員退職慰労金支出	314	1,486	△ 1,172	
退職給付支出	4,781	160	4,621	
法定福利費支出	62,432	63,745	△ 1,313	社会保険料
福利厚生費支出	7,534	7,509	25	つどい・会員交流会費用 他
会議費支出	927	960	△ 33	委員会等定例会費用 他
旅費交通費支出	9,628	10,820	△ 1,192	委員会・講師・役職員出張交通費 他
広告宣伝費支出	1,425	2,710	△ 1,285	郵便局サンプリング広告
通信運搬費支出	13,319	14,977	△ 1,658	看護だより・研修会案内送料 他
消耗什器備品費支出	1,298	8,559	△ 7,261	
消耗品費支出	14,899	16,222	△ 1,323	研修物品費用 他
修繕費支出	9,665	1,460	8,205	藤沢研修センター原状回復工事、車両修理費 他
印刷製本費支出	22,456	27,245	△ 4,789	研修資料印刷代 他
燃料費支出	2,100	1,836	264	訪問看護ステーションガソリン代
光熱水料費支出	3,139	2,929	210	訪問看護ST光熱水費 他
賃借料支出	36,561	50,564	△ 14,003	清康社ビル・訪問看護ST家賃 他
リース料支出	19,747	20,221	△ 474	事務機器等リース料 他
保険料支出	3,067	3,232	△ 165	実地研修参加者傷害保険料
諸謝金支出	27,559	39,206	△ 11,647	講師謝金
租税公課支出	7,466	8,100	△ 634	委託事業消費税 他
手数料支出	1,560	1,591	△ 31	各種振込手数料 他
負担金支出	16,845	17,090	△ 245	会館維持費、研修参加費 他
寄付金支出	900	900	0	災害見舞金等
委託費支出	16,302	18,567	△ 2,265	システム機器・映像技術料 他
雑支出	504	557	△ 53	クリーニング代 他

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
管理費支出	66,994	66,257	737	
役員報酬支出	8,910	9,807	△ 897	
給料手当支出	19,670	19,302	368	
役員退職慰労金支出	35	372	△ 337	
退職給付支出	1,479	0	1,479	
法定福利費支出	4,338	4,366	△ 28	社会保険料
福利厚生費支出	2,701	2,897	△ 196	役職員健康診断料 他
会議費支出	262	207	55	理事会・委員会定例会費用 他
旅費交通費支出	1,962	1,459	503	理事会・役職員出張旅費交通費
広告宣伝費支出	109	109	0	新聞広告料
通信運搬費支出	3,868	3,860	8	電話料、文書送付代 他
消耗什器備品費支出	300	300	0	
消耗品費支出	2,834	3,333	△ 499	事務用品 他
修繕費支出	91	91	0	備品修理代
印刷製本費支出	2,365	2,791	△ 426	総会資料印刷代 他
賃借料支出	109	109	0	会員委員会見学会時使用料 他
リース料支出	1,970	1,661	309	事務機器リース料
保険料支出	271	256	15	役員・委員会傷害保険
諸謝金支出	1,974	1,479	495	税理士報酬 他
渉外費支出	100	100	0	日看協事務指導等食事代
租税公課支出	4,279	5,412	△ 1,133	固定資産税、消費税 他
手数料支出	1,027	1,091	△ 64	各種振込手数料 他
負担金支出	6,203	6,100	103	会館維持費、関係団体会費 他
助成金支出	155	155	0	看護研究活動助成金
委託費支出	1,769	787	982	システム機器・ソフト保守料 他
雑支出	213	213	0	クリーニング代 他
事業活動支出計	796,246	862,992	△ 66,746	
事業活動収支差額	10,099	△ 7,425	17,524	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	349	2,018	△ 1,669	
役員退職慰労引当資産取崩収入	349	1,858	△ 1,509	
退職給付引当資産取崩収入	0	160	△ 160	
敷金・保証金戻り収入	22,044	0	22,044	
敷金戻り収入	22,044	0	22,044	
投資活動収入計	22,393	2,018	20,375	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	42,857	41,561	1,296	
役員退職慰労引当資産取得支出	1,680	2,044	△ 364	
退職給付引当資産取得支出	8,145	7,267	878	
資産取得積立資産支出	20,000	20,000	0	
建物建替積立資産取得支出	13,032	12,250	782	
固定資産取得支出	0	4,402	△ 4,402	
建物建設支出	0	4,402	△ 4,402	
敷金・保証金支出	0	3,160	△ 3,160	
保証金支出	0	3,160	△ 3,160	
投資活動支出計	42,857	49,123	△ 6,266	
投資活動収支差額	△ 20,464	△ 47,105	26,641	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 10,365	△ 54,530	44,165	
前期繰越収支差額	424,523	479,053	△ 54,530	
次期繰越収支差額	414,158	424,523	△ 10,365	

収支予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	68	1,268	△ 1,200
特定資産受取利息	68	1,268	△ 1,200
受取入会金	70,000	72,000	△ 2,000
受取入会金	70,000	72,000	△ 2,000
受取年会費	210,000	213,000	△ 3,000
受取会費	210,000	213,000	△ 3,000
事業収益	407,984	442,706	△ 34,722
受講料等収益	49,856	74,142	△ 24,286
受託事業資料代収益	3,169	5,534	△ 2,365
参加費収益	5,750	5,650	100
訪問看護事業収益	337,717	345,898	△ 8,181
居宅介護支援事業収益	11,492	11,482	10
受取補助金等	112,235	120,088	△ 7,853
受取神奈川県補助金等収益	91,667	99,480	△ 7,813
受取横浜市補助金等収益	2,990	2,990	0
受取川崎市補助金等収益	556	556	0
受取相模原市補助金等収益	1,100	1,100	0
受取日本看護協会補助金等収益	14,950	14,990	△ 40
受取団体助成金等収益	972	972	0
受取寄付金	4,600	5,020	△ 420
受取寄付金	1,000	1,000	0
協賛金収益	3,600	4,020	△ 420
雑収益	1,458	1,485	△ 27
受取利息	31	78	△ 47
その他の雑収益	1,427	1,407	20
経常収益計	806,345	855,567	△ 49,222
(2) 経常費用			
事業費	744,712	808,745	△ 64,033
役員報酬	21,808	20,742	1,066
給料手当	398,231	420,531	△ 22,300
臨時雇賃金	13,650	16,485	△ 2,835
役員賞与引当金繰入額	906	885	21
賞与引当金繰入額	10,229	10,918	△ 689
役員退職慰労引当金繰入額	1,381	2,044	△ 663
退職給付費用	7,908	7,267	641
法定福利費	62,432	63,440	△ 1,008
福利厚生費	7,534	7,509	25
会議費	927	960	△ 33
旅費交通費	9,628	10,820	△ 1,192
広告宣伝費	1,425	2,710	△ 1,285
通信運搬費	13,319	14,977	△ 1,658
減価償却費	11,266	11,178	88
消耗什器備品費	1,298	8,559	△ 7,261
消耗品費	14,899	16,222	△ 1,323
修繕費	9,665	1,460	8,205
印刷製本費	22,456	27,245	△ 4,789
燃料費	2,100	1,836	264
光熱水料費	3,139	2,929	210
賃借料	36,561	50,564	△ 14,003
支払リース料	19,747	20,221	△ 474
保険料	3,067	3,232	△ 165
諸謝金	27,559	39,206	△ 11,647

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
租税公課	7,466	8,100	△ 634
支払手数料	1,560	1,591	△ 31
支払負担金	16,845	17,090	△ 245
支払寄付金	900	900	0
委託費	16,302	18,567	△ 2,265
雑費	504	557	△ 53
管理費	67,782	67,651	131
役員報酬	8,626	9,473	△ 847
給料手当	19,002	18,647	355
役員賞与引当金繰入額	284	334	△ 50
賞与引当金繰入額	668	655	13
役員退職慰労引当金繰入額	299	0	299
退職給付費用	237	0	237
法定福利費	4,338	4,366	△ 28
福利厚生費	2,701	2,897	△ 196
会議費	262	207	55
旅費交通費	1,962	1,459	503
広告宣伝費	109	109	0
通信運搬費	3,868	3,860	8
減価償却費	1,766	1,766	0
消耗什器備品費	300	300	0
消耗品費	2,834	3,333	△ 499
修繕費	91	91	0
印刷製本費	2,365	2,791	△ 426
賃借料	109	109	0
支払リース料	1,970	1,661	309
保険料	271	256	15
諸謝金	1,974	1,479	495
渉外費	100	100	0
租税公課	4,279	5,412	△ 1,133
支払手数料	1,027	1,091	△ 64
支払負担金	6,203	6,100	103
支払助成金	155	155	0
委託費	1,769	787	982
雑費	213	213	0
経常費用計	812,494	876,396	△ 63,902
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,149	△ 20,829	14,680
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,149	△ 20,829	14,680
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	3,243	△ 3,243
経常外費用計	0	3,243	△ 3,243
当期経常外増減額	0	△ 3,243	3,243
当期一般正味財産増減額	△ 6,149	△ 24,072	17,923
一般正味財産期首残高	1,926,559	1,950,631	△ 24,072
一般正味財産期末残高	1,920,410	1,926,559	△ 6,149
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,920,410	1,926,559	△ 6,149



こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

平成30年度 継続・新規入会手続き受付中!

有効期間/平成30年4月1日~平成31年3月31日
入会費/20,000円(県協会へ初めて入会する方)
年会費/11,000円(日看協5,000円+県協会6,000円)
※年齢によって年会費の一部免除があります。

■変更手続きについて

所属施設・自宅住所等の変更がある方は必ず下記の問合せまでご連絡ください。

■払込用紙がお手元にある方は、早めにご入金ください。

口座振替依頼書不備等の書類をお持ちの方は早めに提出ください。

問合せ/総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

第20回神奈川看護学会演題募集中!

テーマ:「神奈川看護学会20周年
~神奈川の看護の未来を問う~」

神奈川看護学会では、幅広い分野からの演題応募を受け付けております。研究初心者の方も安心して発表できる学びの場です。神奈川で看護する仲間たちと、研究を通して看護について語ってみませんか?

詳しくはホームページをご覧ください。

日時/平成30年12月1日(土)
会場/パシフィコ横浜アネックスホール

締切/7月2日(月)必着

問合せ/神奈川看護学会事務局 ☎045-263-2926

KANAGAWA看護だより表紙の 写真・記事等募集

広報出版委員会では、看護だよりの表紙に掲載する写真や記事を募集しています。掲載希望の方は、下記までご連絡ください。

問合せ/総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



職員が使命とやりがいを持って働ける環境

——国家公務員共済組合連合会
横浜南共済病院 (横浜市金沢区)

当院は、横浜市南部地区の基幹病院(3次救急)として、高度の医療設備を備え、患者さんの立場に立った医療サービスの提供に努めています。

平成27年5月に完成した新棟では病棟アメニティの充実、手術室の拡充およびICUの増床、救急センター(診療部門・救急病棟)の充実を図りました。

さらに、平成28年3月には「緩和ケア病棟」をオープンし、地域の各医療機関や診療所、訪問看護ステーションと連携しながら、がん患者さんの症状緩和や療養に関する支援をしています。

看護部では、『やさしさのある確かな看護を』をモットーに、看護師ひとり一人が患者さんに寄り添った看護の実践に努めています。

看護部長 佐竹 みゆき

通常総会のご案内

日時/6月22日(金) 9時45分~16時00分

場所/県総合医療会館7階講堂

報告・審議事項/平成29年度事業報告、平成30年度重点事業及び事業計画、平成30年度資金収支予算及び収支予算、平成29年度決算報告及び監査報告(案)、平成30年度役員選出 他

講演/「記憶をつなぐラブレター」

講師/画家・タレント 城戸真亜子氏

その他/アコースティックギターコンサート
ギタリスト ダニエル・コフリン氏

保健師職能集会・講演会

日時/7月18日(水) 13時30分~16時30分

場所/神奈川県看護協会第1研修室

内容/1)職能集会
2)講演会「エンドオブライフ・ケアを考える」

講師/東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理学講座 特任教授 会田薫子氏

助産師職能集会・講演会

日時/7月26日(木) 13時~16時30分

場所/神奈川県看護協会第1研修室

内容/1)職能集会
2)講演会「乳房ケア」

講師/宮下助産院 宮下美代子氏

看護師職能Ⅰ集会・講演会

日時/7月21日(土) 13時30分~16時

場所/県総合医療会館7階講堂

内容/1)職能集会
2)講演会
「看護の将来ビジョン~いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護の実現のために何をすべきか~」

講師/公益社団法人 日本看護協会
会長 福井トシ子氏

看護師職能Ⅱ集会・講演会

日時/6月23日(土) 13時30分~16時

場所/県ナースセンター研修室

内容/1)平成29年度活動報告
2)平成30年度活動計画
3)講演会「今後の地域看護に求められるもの~診療報酬・介護報酬同時改定の視点から~」

講師/公益社団法人 日本看護協会
常任理事 荒木暁子氏

お知らせ

副会長 桃田寿津代さんが4月28日にご逝去されました。長年にわたる当協会へのご尽力に感謝するとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

今月号の2日目看護師さんのことばは、とてもフレッシュで力強かったですね。新社会人のみなさん、新看護職のみなさんにも読んでもらえると、頼もしいエールになると思います。今年もみなさんに楽しんでもらえる看護だより作りをがんばります。(A・K)